

# I ー② シラバスの内容と想定される教育内容の例

※ 時間数については、一般養成施設の場合

※ 共通科目については、平成21年4月より改正された社会福祉士のシラバス内容を掲載

専門  
科目

## 1. 精神疾患とその治療(60時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する。</li> <li>精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する。</li> <li>精神保健福祉士が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する。</li> <li>精神医療・福祉との連携の重要性と精神保健福祉士がその際に担うべき役割について理解する。</li> </ul>	<p>① 精神疾患総論(代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む)</p> <hr/> <p>② 精神疾患の治療</p>	○ 精神医学、医療の歴史と現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳の構造</li> <li>心の生物学的理解、精神分析から見た心</li> <li>健康、精神症状、精神疾患、精神疾患に由来する障害</li> <li>三大分類、国際分類法</li> <li>統合失調症、気分障害、ストレス関連障害、認知症、発達障害等</li> </ul>
		○ 精神現象の生物学的基礎	
		○ こころの <b>概念</b> ・モデル	
		○ 精神障害の概念	
		○ 精神疾患の成因と分類	
		○ 代表的な疾患	
		○ 精神症状と状態像	
		○ 診断の手順と方法	
		○ 身体的検査と心理的検査	
		○ 精神科薬物療法	
○ 電気けいれん療法などの身体療法			
○ 精神療法	10		

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 精神科リハビリテーション	
		○ 環境・社会療法	
	③ 精神科医療機関の治療構造及び専門病棟	○ さまざまな専門病棟	
	④ 精神科治療における人権擁護	○ 精神科治療と入院形態	・ 指定医、病棟特性、処遇
		○ インフォームド・コンセント	
		○ 隔離、拘束のあり方	
		○ 精神科救急医療システムとその対象	
		○ 移送制度による入院	
	⑤ 精神科病院におけるチーム医療と精神保健福祉士の役割	○ 報告、連絡、相談、カンファレンス等	
	⑥ 精神医療と福祉及び関連機関との間における連携の重要性	○ 治療への導入に向けた支援	
		○ 再発予防のための支援	
		○ 退院促進の支援	・ 集中的包括的ケアマネジメント(ACT)
		○ 医療観察法対象患者の支援	

## 2. 精神保健の課題と支援(60時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>精神の健康についての基本的考え方や精神保健学の役割について理解する。</li> <li>現代社会における精神保健の諸課題と、精神保健の実際及び精神保健福祉士の役割について理解する。</li> <li>精神保健を維持、増進するために機能している、専門機関や関係職種の役割と連携について理解する。</li> <li>国際連合の精神保健活動や他の国々における精神保健の現状と対策について理解する。</li> </ul>	<p>① 精神の健康と、精神の健康に関連する要因及び精神保健の概要</p>	○ 社会構造の変化と新しい健康観	<ul style="list-style-type: none"> <li>高次脳機能障害</li> </ul>	
		○ 精神の健康、精神疾患、身体・精神疾患に由来する障害		
		○ ライフサイクルと精神の健康		
		○ 生活習慣と精神の健康		
		○ ストレスと精神の健康		<ul style="list-style-type: none"> <li>破綻の現れ方、燃え尽き、心の傷</li> </ul>
		○ 精神の健康に関する心的態度		<ul style="list-style-type: none"> <li>否認、受容、回復</li> </ul>
		○ 予防の考え方		<ul style="list-style-type: none"> <li>カプランの考え方</li> </ul>
	<p>② 精神保健の視点から見た家族の課題とアプローチ</p>	○ ささまざまな活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>老人保健</li> </ul>	
		○ 精神保健活動の三つの対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>支持的精神保健</li> </ul>	
		○ 現代日本の家族の形態と機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>非婚、DV</li> </ul>	
		○ 結婚生活と精神保健		
		○ 育児や教育をめぐる精神保健		<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て不安、児童虐待</li> <li>発達障害</li> </ul>
		○ 病気療養や介護をめぐる精神保健	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の燃え尽き、高齢者虐待</li> </ul>	
		○ 社会的ひきこもりをめぐる精神保健		
○ 家庭内の問題を相談する機関				
○ 保健所等の精神保健福祉士の役割				

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
	③ 精神保健の視点から見た学校教育の課題とアプローチ	○ 現代日本の学校教育と生徒児童の特徴	・ いじめ、学校における暴力、自殺 ・ 不登校、学級崩壊 ・ 非行問題(少年犯罪、薬物依存、10代の妊娠)等	
		○ 教員の精神保健		
		○ 関与する専門職と関係法規	・ 学校保健法など	
	④ 精神保健の視点から見た勤労者の課題とアプローチ	○ 保健所等の精神保健福祉士の役割		
		○ 現代日本の労働環境		
		○ うつ病と過労自殺		
		○ 飲酒やギャンブルに関する問題		
		○ 心身症と生活習慣病		
		○ 職場内の問題を解決するための機関及び関係法規	・ 労働基準法、労働安全衛生法など	
	⑤ 精神保健の視点から見た現代社会の課題とアプローチ	○ 保健所等の精神保健福祉士の役割		
		○ 災害被災者、犯罪被害者の精神保健		
		○ ニートや貧困問題と精神保健		
		○ ホームレスと精神保健		
○ 性同一性障害と精神保健				
⑥ 精神保健に関する対策と精神保健福祉士の役割	○ 他文化に接することで生じる精神保健上の問題			
	○ アルコール問題に対する対策			

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
		○ 薬物依存対策	
		○ うつ病と自殺防止対策	
		○ 認知症高齢者に対する対策	
		○ 社会的ひきこもりに対する対策	
		○ 災害時の精神保健に対する対策	
	⑦ 地域精神保健に関する諸活動と精神保健に関する偏見・差別等の課題	○ 関係法規	・ 地域保健法、母子保健法など
		○ ネットワークづくり	
		○ 資源開発	
		○ 精神保健に関する調査	
		○ 精神保健に関わる人材育成	
		○ 国民の精神障害観	
		○ 施設コンフリクト	
	⑧ 精神保健に関する専門職種(保健師等)と国、都道府県、市町村、団体等の役割及び連携	○ 国の機関とその役割	
		○ 精神保健に係る法規	
		○ 保健師等の役割と連携	
		○ 地域精神保健に係わる行政機関の役割及び連携	・ 精神保健福祉センター、保健所、市町村(保健センター)
		○ 学会や啓発団体	・ いのちの電話、アルコール問題、精神衛生会
		○ 主なセルフヘルプグループ	・ 家族会、当事者の会
	⑨ 諸外国の精神保健活動の現状及び対策	○ 世界の精神保健の実情	
		○ WHOなどの国際機関の活動	
		○ 諸外国の精神保健医療の実情	

# 3. 精神保健福祉相談援助の基盤 I (30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>精神保健福祉士の役割(総合的包括的な援助及び地域福祉の基盤整備と開発を含む)と意義について理解する。</li> <li>社会福祉士の役割と意義について理解する。</li> <li>相談援助の概念と範囲について理解する。</li> <li>相談援助の理念について理解する。</li> </ul>	① 精神保健福祉士の役割と意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 精神保健福祉士法</li> <li>○ 精神保健福祉士の専門性</li> <li>○ 精神保健福祉士の専門職倫理と倫理的ジレンマ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法制度見直しの背景</li> <li>・ 定義、義務</li> <li>・ その他</li> </ul>
	② 社会福祉士の役割と意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会福祉士及び介護福祉士法</li> <li>○ 社会福祉士の専門性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本精神保健福祉士協会倫理綱領</li> <li>・ 国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)倫理綱領</li> <li>・ 倫理的ジレンマ</li> <li>・ その他</li> </ul>
	③ 相談援助の概念と範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ソーシャルワークに係る各種の国際定義</li> <li>○ 社会福祉士・精神保健福祉士が行うソーシャルワークの形成過程</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際ソーシャルワーカー連盟(IFSW)の定義</li> <li>・ その他</li> <li>・ 慈善組織活動</li> <li>・ セツルメント運動</li> <li>・ その他</li> </ul>
	④ 相談援助の理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人権尊重</li> <li>○ 社会正義</li> <li>○ 利用者主体本位</li> <li>○ 尊厳の保持</li> <li>○ 権利擁護</li> <li>○ 自立支援</li> <li>○ 社会的包摂</li> <li>○ ノーマライゼーション</li> </ul>	

# 4. 精神保健福祉相談援助の基盤Ⅱ (30時間)

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害者を対象とした<b>精神保健福祉士が行う相談援助の対象</b>、<b>基本的考え方</b>と<b>相談援助技術の概要</b>について理解する</li> <li>精神障害者の相談援助に係る<b>専門職</b>の<b>概念と範囲</b>について理解する</li> <li>精神障害者の相談援助における<b>権利擁護</b>の<b>意義と範囲</b>について理解する</li> <li><b>精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携の意義と内容</b>について理解する</li> </ul>	<p>① 精神障害者を対象とした<b>精神保健福祉士が行う相談援助活動の対象と相談援助の基本的考え方</b>と<b>相談援助技術の概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><del>○ 精神障害者を対象とした相談援助活動の目的・価値・意義・内容・原則</del></li> <li>○ <b>保健、医療、福祉等の各分野における相談援助の対象及び相談援助の基本的考え方</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>対象</b>、目的、価値、意義、内容、原則</li> <li>・ その他</li> </ul>	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>相談援助技術の概要</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><del>○ 相談援助に関する概念の整理</del></li> <li><del>○ 個別に相談援助する技術</del></li> <li><del>○ 集団を活用した相談援助技術</del></li> <li><del>○ 地域を基盤に置いた相談援助技術</del></li> <li><del>○ その他</del></li> </ul>
		<p>② 相談援助に係わる<b>専門職</b> (精神科病院、精神科診療所を含む)の<b>概念と範囲</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>医療機関</b>(精神科病院、精神科診療所を含める)における<b>専門職</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師、薬剤師、看護師、作業療法士、理学療法士、臨床心理技術者、管理栄養士</li> <li>・ その他</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>福祉行政・関連行政機関等</b>における<b>専門職</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉事務所の現業員、査察指導員、社会福祉主事、児童福祉司、身体障害者福祉司、知的障害者福祉司</li> <li>・ 保健所の医師、保健師、作業療法士</li> <li>・ 保護観察所の社会復帰調整官</li> <li>・ 労働行政機関等の障害者職業カウンセラー、職場適応援助者(ジョブコーチ)等</li> <li>・ その他</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <b>民間の施設・組織</b>における<b>専門職</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設長、生活指導員、社会福祉協議会の職員、地域包括支援センターの職員</li> </ul>	

シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相談支援専門員, サービス管理責任者, 居宅介護従事者</li> <li>・ その他</li> </ul>
	③ 精神障害者の相談援助における権利擁護の意義と範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 相談援助における権利擁護の概念と範囲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己決定、意思決定能力</li> <li>・ 権利擁護システム</li> </ul>
	④ 精神保健福祉活動における総合的かつ包括的な援助と多職種連携(チームアプローチ含む)の意義と内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 精神障害者の人権擁護と精神保健福祉士の役割</li> <li>○ 総合的かつ包括的な援助の意義と内容</li> <li>○ 多職種連携(チームアプローチ)の意義と内容</li> </ul>	



シラバスの内容		想定される教育内容の例	
ねらい	含まれるべき事項		
<ul style="list-style-type: none"> <li>精神医療の特性(精神医療の歴史・動向や精神科病院の特性の理解を含む)と、精神障害者に対する支援の基本的考え方について理解する。</li> <li>精神科リハビリテーションの概念と構成及びチーム医療の一員としての精神保健福祉士の役割について理解する。</li> <li>精神科リハビリテーションのプロセスと精神保健福祉士が行うリハビリテーション(精神科専門療法を含む)の知識と技術及び活用する方法について理解する。</li> <li>精神障害者を対象とした相談援助技術(個別援助、集団援助の過程と、相談援助に係る関連援助や精神障害者と家族の調整及び家族支援を含む)の<b>実際展開</b>について理解する。</li> <li>精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的な考え方と支援体制の実際について理解する。</li> <li>精神障害者の地域生活の実態とこれらを取り巻く社会情勢及び地域相談援助における基本的な考え方について理解する。</li> </ul>	① 精神保健医療福祉の歴史と動向	○ わが国の精神保健医療福祉の歴史と動向	
	○ 諸外国の精神保健医療福祉制度の変遷		
	② 精神障害者に対する支援の基本的な考え方と必要な知識	○ 精神保健福祉士における活動の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会防衛</li> <li>Y問題</li> <li>権利擁護</li> <li>自立生活支援</li> </ul>
		○ 精神障害者支援の理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>ノーマライゼーション</li> <li>ストレングス</li> <li>リカバリー</li> <li>レジリエンス</li> </ul>
		○ 精神保健医療福祉領域における支援対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神障害の概念</li> <li>精神障害者の定義</li> <li>精神障害者の特性</li> <li>その他(労働、司法、教育領域における対象者)</li> <li>その他(自殺対策基本法、発達障害者支援法等の対象者)</li> </ul>
		○ 精神障害者の人権	<ul style="list-style-type: none"> <li>国連原則</li> <li>欠格条項</li> <li>インフォームドチョイス</li> <li>権利擁護システム</li> </ul>
	③ 精神科リハビリテーションの概念と構成	○ 精神科リハビリテーションの概念	・ リハビリテーションの歴史と概念
		○ 精神科リハビリテーションの理念、意義と基本原則	・ リハビリテーションの理念、意義と基本原則
		○ 精神科リハビリテーションの構成と展開	

シラバスの内容		想定される教育内容の例		
ねらい	含まれるべき事項			
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域リハビリテーションの構成と社会資源の活用及びケアマネジメント、コミュニティワーク(地域相談援助に係る組織、団体、関係機関及び専門職との連携についての理解を含む)の実際について理解する。</li> <li>地域相談支援における生活を支援する保健・医療・福祉等機関(通院・在宅医療サービス)と連携の包括的な支援(地域精神保健福祉活動)の意義と実際展開について理解する。</li> <li><del>精神障害者の相談援助に係る社会調査の意義、目的、概要及び活用について理解する。</del></li> </ul>	④ 精神科リハビリテーションのプロセス	○ リハビリテーション計画		
	⑤ 医療機関における精神科リハビリテーション(精神科専門療法を含む。)の展開とチーム医療における精神保健福祉士の役割	○ アプローチの方法	○ 精神専門療法	・作業療法及びレクリエーション療法、集団精神療法、行動療法、認知行動療法、SST(生活技能訓練)
		○ 家族教育プログラム	○ 精神科デイケア等	・ 心理教育
		○ 精神科デイケア等	○ アウトリーチ	・ 精神科退院前訪問指導、精神科訪問看護・指導
		○ チーム医療の概要	○ 代表的な実践モデル	・ 治療モデル(医学モデル、欠陥モデル)
		○ 多職種との協働・連携		・ 生活モデル(環境モデル、エコシステムモデル、社会モデル)
		○ 代表的な実践モデル		・ ストレングスモデル
		⑦ 相談援助の過程及び対象者との援助関係	○ 受理面接(インテーク)	
		○ 契約		
		○ 課題分析(アセスメント)		
		○ 支援の計画(プランニング)		
		○ 支援の実施(インターベンション)		
		○ 経過観察(モニタリング)		
		○ 効果測定と支援の評価		
		○ 終結とアフターケア		
	⑧ 相談援助活動のための面接技術	○ 面接を効果的に行う方法	・ カウンセリング技法	